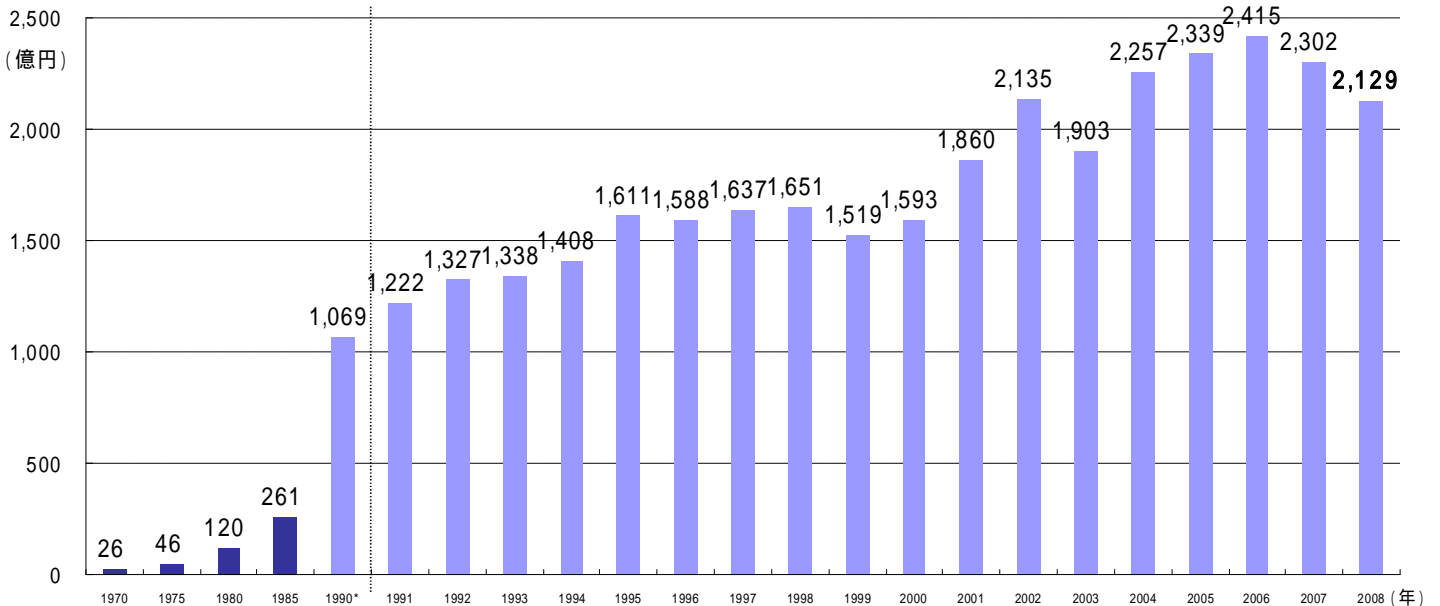


アニメ市場は2年連続の前年比減

アニメーション市場規模の推移 < 1970-2008年 >



弊社が毎年実施している「アニメーション市場分析プロジェクト」の調査結果がまとまりましたので、その一部を公表いたします。

2008年(暦年)のアニメーション市場規模は2129億円で、2年連続の前年比減となりました。

劇映画では、4年ぶりに公開された宮崎駿監督作品「崖の上のポニョ」が興行収入155億円を記録し、2008年の劇映画全体で1位となりました。しかし、その他では興行収入10億円以上を記録したアニメ作品数が減少し、とくに洋画はヒット作に恵まれませんでした。

テレビアニメの放送本数は減少が続いています。2008年は不況の影響が放送市場全体にあらわれ、番組制作費が抑えられたことも影響し、地上波の市場が前年比微減となりました。衛星・CATVのアニメチャンネル視聴者数は増加しましたが、大きな伸びには至っていません。

DVDの普及が一段落したビデオソフト市場も縮小傾向にあります。2008年のアニメビデオソフト出荷額は前年比で大幅減となっています。レンタル市場も店数の縮小や消費の冷え込みなどが影響して前年比減となりました。今後はブルーレイの普及がどれほど進むかという点が注目されます。

昨年まで急伸びしていたブロードバンド市場の伸びは鈍化していますが、携帯向けのアニメ配信サービスが本格的に開始され、少しずつユーザーを増やしています。今後、次世代携帯端末の普及が進み、動画を安定視聴できる環境が整うにつれて携帯向けアニメ配信市場が拡大することが期待されています。

< 市場の範囲 >

・劇場用アニメ、アニメビデオソフト(セル/レンタル)、テレビアニメ、ブロードバンド配信

注)算出に際してはユーザー支出レベルで統一しています。ただしユーザーが直接支出に関与していない地上波およびBS放送で放映されたアニメに関しては、制作費を市場規模として採用しています。

< 本リリースに関するお問い合わせ >

株式会社メディア開発総研 担当:戸口、柳川 TEL:03-5261-8927 FAX:03-5261-8928 e-mail:info@mdri.co.jp

引用、転載される場合は、クレジット(メディア開発総研発表)を入れていただくか、上記担当へ連絡を願います。